

福島浜通りでの帰還を後押し コットンベルト実現化事業

〒971-8168
福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6
電話:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298
E-mail: onahama.volunteer@gmail.com
http://npo-thepeople.com/



復興支援助成

1年目

実践



帰還地で外部支援者も加わっての苗植え作業

コットン栽培の
恒常的な関係者数 **90人**

首都圏での
報告会参加者数 **80人**

今年度計画の達成度 **75%**

活動の全体目標に対する
達成度 **30%**

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

除染後の土壌の質が悪く、コットン栽培に適さない土地での栽培を行うことになってしまった。

■ 工夫した点

追肥など手を加えたが、状況の改善が見られなかった。そのため、栽培地の管理者と協議のうえ、次年度からの栽培地の変更を決定。

課題

帰還で解決できない農業とコミュニティの課題、避難継続を決断した者が抱える不安、意欲ある帰還者が頑張ろうとしても単独では難しい現状、福島外での風評被害払拭の必要性

目標

避難地及び帰還地である福島県浜通り地域(いわき市・双葉郡内の避難解除地域・南相馬市)に有機農法によるコットンベルトが形成され、地域の農業再生の取組みが進む。

活動内容と成果

活動1 避難地・帰還地双方での有機農法でのコットン栽培の実現について：
双葉郡広野町においては以前より本会による栽培指導のもと住民主体のNPO法人が中心となりコットン栽培が実施されていたが、北隣の楡葉町にお

いても帰還した青年たちの手により小規模ながらコットン栽培が始められた。帰還直後の富岡町でも栽培開始。南相馬市では、農家民泊を手掛ける農家と福祉施設の関係者が栽培にあたった。南相馬では入念に手入れを行い、良質のコットンを収穫することができた。収量も当初の目標値である10kg/反を上回った。



双葉郡内で育つコットン

今後の展望

次年度は、本事業の2年目であると同時に、全国コットンサミット開催年度となることから、本事業の実施を通してさらに地域一般住民や避難者、帰還者に対する本プロジェクトの周知に力を入れ、参画者を増やす。